

近江八幡市が目指す小学校教科担任制について

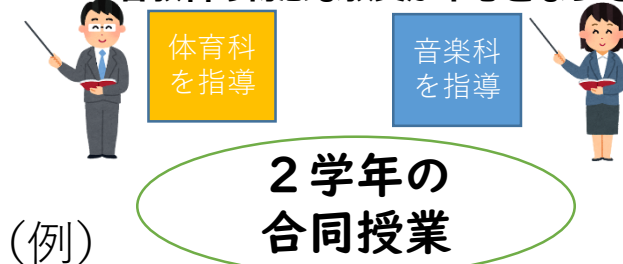
令和6年度10月作成
近江八幡市教育委員会事務局
学校教育課

本市では、令和7年度より市内小学校において、学校の特色を生かした中学年からの教科担任制を導入します。具体的な取組は、各学校の実態に応じて柔軟に実施します。

(教科担任制4つのねらい) ①授業の質の向上 ②多面的な児童理解
③小・中学校間の円滑な接続 ④教師の負担軽減

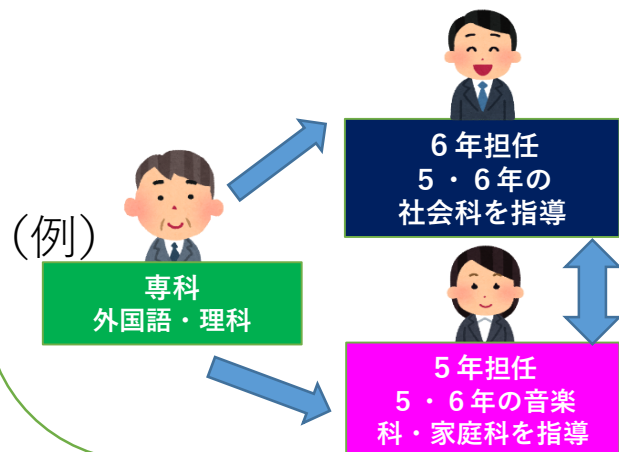
【単級・複式の場合】

★各教科の得意な教員が中心となって2学年合同で指導します。



◎2学年合同で行うことで、人数が増え、児童は多様な意見に触れることができる
◎生活集団の固定化を防ぐことができる
◎子どもたちと向き合う時間や授業の教材を研究する時間が生まれる

★専科指導×2学年での授業交換を行います。



◎教員の持ち味・経験年数・得意教科等を考えて担当教科を決めて指導することで、質の高い授業を提供することができる
◎2学年を指導することで教科の系統性を意識した指導ができる
◎複数の教員が関わることで多面的な児童理解ができる

【学年複数学級の場合】

★専科指導×授業交換 や 単元担当制を取り入れます。



学校のチーム力を生かした質の高い教育を目指します

★教科担任制を手段として活用し、学校教育目標を具現化し、子どもたちの生き抜く力を育みます。
★教員がチームで子どもを見とり、複数で指導・支援する学校体制をつくります。
★教員の持ち味を生かし、専門性の高い教科を担当することで質の高い授業を提供します。
★教員が互いの指導技術を学ぶ機会を増やし、教育力の向上・人材育成につなげます。
★教科担任制のメリットを全教職員・子ども・保護者が感じ、授業改善と教員の「働きがい」につなげます。

教科横断的な学習を意識し、各教科で身に付けた力を総合的な学習の時間等で課題発見能力・課題解決能力等の生き抜く力を養います